

第1回住民説明及び意見交換会（豊岡第一地区）の概要	
日 時	平成29年9月7日（木）午後7時～午後9時
場 所	扇町屋公民館
参加者	12名
<p>○意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働率の算式方法について詳しく知りたい。</li> <li>→施設の利用コマ数に対して、施設全体の割合を算出している。実際には、部屋ごとに算出すると割合が高い部屋もあるが、あまり利用されていない部屋については、もっと低い場合もある。資料では、平均値を採用している。</li> <li>・本日出席している豊岡3区の住民は、豊岡を一体の地域として欲しいという考えの下で参加している。豊岡3区の取扱いは、調整中とのことだが、実際のところは、どうなるのか。</li> <li>→地区懇談会でも意見が出ているので、この場で言及することは控えさせていただき、次回の地区懇談会で意見をもらった上、説明させていただきたい。</li> <li>・週に1回は扇町屋公民館を利用している。予約も取りにくい扇町屋公民館は、稼働率は良い。現在、90才になるが、生まれたときから豊岡は、1区、2区、3区だった。これを分けるのはおかしい。豊岡地区は、1区、2区、3区で成り立っている。憩いの場所として、扇町屋公民館を利用している。統合は、地域性や利便性を考慮して欲しい。</li> <li>・豊岡1丁目が在住だが、どこの説明会に行けばよいのか迷った。生活に密着しているのは、扇町屋公民館なのでこちらに参加した。機械的に振り分けると住民は、どこに行けばよいのかわからない。区分については、慎重に再考願いたい。</li> <li>・過去に傍聴した地区懇談会の中で、豊岡地区の保育所は、3施設を1施設にするということに対して、子育て世代の意見がなかった。送迎サービスでは、時間が制約され、保護者に負担がかかる。公立の保育所の方が、民間よりもサービスが充実しているのでニーズがある。子育て世代の意見を良く聞いて慎重に検討してもらいたい。</li> <li>→保育の担当部署と調整しながら検討していきたい。</li> <li>・豊岡3区在住だが、扇町屋の歴史、これまでの経緯、地域性、風土などを大事にしてもらいたい。豊岡を分ける必要はないのではないか。扇町屋公民館が、地区センターになった場合は、将来的に考えると1区、2区とのつながりが薄れていくのではないかと。市民会館と市役所の複合化は、交通渋滞の懸念や、中途半端な規模の文化会館になりかねないので、条件付きでも可能であれば、現在の場所に建替えた方が良いのではないかと。複合化ありきではなく、検討してもらいたい。また、駅前留保地を利用した広域的な連携についても、再度検討してもらいたい。</li> </ul>	

- 市役所、市民会館の件については、議会でも検討しているので、その中で方向性を出していきたい。
- ・豊岡3区在住だが、加美町、奈賀町、志茂町は江戸時代の古文書にも出ている。今まで仲良くやってきた。豊岡3区だけ離れることに悩んでいる。数合わせで、豊岡3区を豊岡第二地区に区分するのはやめてもらいたい。明日の東町公民館の説明会には、遠くて高齢の方は出席できないのではないかな。
  - ・今日の資料で、豊岡3区が入ったシミュレーション資料を作成していただきたい。
- 10月2日に実施する「第2回住民説明及び意見交換会」までにまとめた。
- ・公民館は個人で借りられないが、利用率が低いことを考えると、規定を変えて個人でも借りられるようにするなど（料金を多少支払っても良いので）、利用率を上げる努力をして欲しい。
  - ・博物館について、公民館の利用率を言うよりも、博物館の利用率を踏まえて、あり方を良く検討した方がよいのではないかな。
  - ・土地区画整理事業が進んでいない。街づくりをないがしろにして、人口が減るということは、間違いではないかな。
  - ・区分について、地域のニーズを踏まえていない。一度決めてしまうと、実態としては、住民の意向があっても、その後の見直しが行われないのではないかな懸念している。
- 見直しについては、全ての住民の意見を取り入れることは、難しいと思う。地域住民の意見や実態を踏まえ、見直しを行う必要があり、市全体のバランスを踏まえ検討していきたい。地区の意見を全て取り入れるのは調整が必要だと思う。
- ・地区懇談会では、事業計画は、10年に一度見直しをするということであったが、このことについて今回説明をしないのか。
- あえて説明しなかった訳ではない。実際の人口増減率などを踏まえ、10年ごとに見直しを行って行きたい。
- ・今日、地区説明会に参加している豊岡3区の住民9人は、この地区区分は、おかしいと思っている。また、説明会の周知が不十分で、分かりにくい。地区懇談会の委員については、他の地区の住民（例：藤沢地区在住者）が来ても扇町屋地区のことは発言できないのではないかな。
  - ・地区センターについて、規模、予算などを知りたい。
- この計画では、市内9地区に整備するところまでしか決めていない。次の段階で規模、体制を決めていきたい。
- ・地区センターが決まらないと、市役所の規模が決まらないのではないかな。
- 計画どおりにいけば、来年度には、地区センターの整備計画に取り組みたい。市役所整備については、最短で平成31年度から設計に入る予定であ

るが、現段階では、規模（大きさ）を決める段階にはない。今後の調整課題である。市役所整備計画は、公共施設マネジメント事業計画と整合させて考えていかななくてはならない。

- ・地域区分は、どのように決めたのか。
- 旧町村の6地区に加え、中学校区（11区分）、公民館の対象範囲（13区分）も検討したが、公共施設の再編成を考えていく中で、人口のバランスを考慮した地域福祉圏域の9区分を採用した。豊岡・藤沢地区については、歴史的経緯はあまり考慮せず区分されている。地域区分のことは、改めて検討したい。
- ・公共施設は、市民生活や人の動きに合わせて整備することが基本ではないか。
  - ・扇町屋公民館は、市として必ず残すということであれば、了承して帰る。豊岡地区の地域区分（3地区）をなくすとか、変えるとかしないと今後のマネジメント計画は難しいと思う。
  - ・稼働率については、客観的な数字なのか。黒須地区体育館では、同じ団体に利用制限があった。マネジメントの話がでてから稼働率を上げるために管理者から利用時間の誘導があったようだ。

第1回住民説明及び意見交換会（豊岡第二地区）の概要	
日 時	平成29年9月8日（金）午後7時～午後9時
場 所	東町公民館
参加者	12名
<p>○意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料によって和暦と西暦があり分かりづらい。統一するなど工夫して欲しい。</li> <li>・どのように地域の意見を聴取しているのか。地区懇談会の概要を知りたい。</li> <li>→地区懇談会の委員は、各地区で推薦を受けた委員で構成されている。なお、一般の方も、懇談会の傍聴はできる。</li> <li>・説明会に多くの市民に参加してもらう方法はないものか。自治会のルートを活用するのはどうか。地区懇談会委員から自治会等に情報が回っていないようだ。</li> <li>→多くの市民に参加してもらえよう周知の工夫をしたい。</li> <li>・老人憩いの家は今後施設を継続するのか譲渡するのか。</li> <li>→施設ごとに状況が違うため、対応もそれぞれである。自治会の要望にもよるが、最終的に譲渡の意向がない場合は、廃止の方向で検討する。</li> <li>・東町4～7丁目は藤沢北小と藤沢中に通っているが、児童生徒の推移を示す資料の中で、平成44年の数値は現在の学区なのか。</li> <li>→現在のものである。地域区分と通学区の不整合の課題は把握している。一方、地域全体の見通しとしては、児童生徒数は減少していく傾向である。</li> <li>・公民館の利用であるが、扇町屋団地住民は東町公民館、豊岡3区は扇町屋公民館を利用している。地域区分により、この取扱いなどはどうなるのか。</li> <li>→豊岡3区については、区分の見直しを含めて検討している。</li> <li>・藤沢北小学校や同小学校の学童保育室は、藤沢地区説明会で説明しているのか。建物がプレハブであるが、耐震性は大丈夫なのか。</li> <li>→土地としては、豊岡地区に存在するが、配置バランスを考慮して、藤沢地区の施設として扱っている。地域区分との不整合については、課題として認識している。なお、学童保育室の耐震性能は、基準を満たしている。施設自体については、将来、学校敷地内や校舎内に配置していく考えである。</li> <li>・LCC（ライフサイクルコスト）等の検討はコンサル会社を入れて試算しているのか。</li> <li>→コンサル会社をお願いしているが、試算については、全国の自治体が活用している総務省ソフトを活用している。</li> <li>・学校に配置する「地域交流スペース」について、校門やセキュリティの面で話を聞きたい。</li> <li>→校舎を建替える際、校舎と離して別棟にするなど、セキュリティ面で総合的に考えていきたい。</li> <li>・東町公民館が大雨時に敷地の一部が水没したが、排水の件は上下水道部に</li> </ul>	

相談した方がよいのではないか。

- ・東町小中学校（跡地）を活用する場合、いくつかの制限があることを地区懇談会の委員から聞いた。その後、何か分かったか。また、学校に他の用途を併設する複合化に対し、どのように考えているのか。
- 公共施設として活用する場合、問題はないと把握している。この件は、次の地区懇談会等でお話できると思う。また、学校の複合化は文科省でも取り組みが始まっている。
- ・基地跡地については、開墾の歴史を踏まえ、住民の思いが強いと地区懇談会の委員から意見があったと思う。地元としては、公共的な使用が望ましいのではないかと考えている。なお、説明にあった、学校に学童保育室を設置するのは安易ではないと考える。
- 民間に売却することが前提ではなく、施設用途を転用する対応を検討していきたい。学童保育室は校舎内に入れていく調整も進んできている。
- ・入間市の公債費を見ると全国でも健全だと思う。解体に起債の活用ができるのか。補助金や交付金制度はあるのか。
- 除却については、地方債（除却債）が活用できる。一方、補助金等については、現時点で国の設定がない。

第1回住民説明及び意見交換会（豊岡第三地区）の概要	
日 時	平成29年9月11日（月）午後7時～午後9時
場 所	黒須公民館
参加者	15名
<p>○意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統廃合を行うにあたり資金的な裏付けはどのように考えているか。</li> <li>→現在考えている案に基づき、施設の再編成をした際の事業費について、並行して試算を進めている。事業費だけでなく財源をどうするのかも重要である。単純に耐用年数によって建替えるとなると1～2年の間に集中する場合もあるが、支出（歳出）の平準化を図り、年度間のバランスをとることも考えなければならない。9地区から意見をいただき、再編成の案もまとめていきたいと思うが、財源も含めた財政計画も併せて検討していく。年間30億円の枠の中で、インフラ施設（11.3億円）を除いた18.7億円が公共施設の再編成に充てられる費用との試算が出ており、これを目安にこの範囲で平準的に行っていく。基金の活用、補助金の活用なども含めて計画を作っていくよう調整している。</li> <li>・施設を統廃合する上において、単に線引きをすれば良いという問題ではない。黒須小は地区の北端、高倉小学校は西端となっており、そのあたりを考えると長期計画はすべきではないか。統廃合では中間に配置するのも1つの考え方である。通学区や公民館利用を考慮して地区の線引きをすることが必要ではないか。人口推移は平成17年の15万人から横ばいであるが、人口減少に対してこれまで何の策も講じてこなかったのか。</li> <li>→人口減少に対する積極的な取り組みがなかったのは認めざるを得ない。過去10年ほどは人口15万人前後で推移し、ここ1～2年は約14万8千人で推移し、ピーク時から見て1,300人程度減少している。長期的には出生率改善、短期的には移住促進として人口減少対策の取り組みを始めたが、大きな効果について見込みが立っていない。</li> <li>・世帯数の推移はどうなっているのか。</li> <li>→若年層、社会人となった世代は都内、さいたま市、川崎市などへの流出傾向がある。30代、子育て世代は流入が流出を上回っている。全体では流出が流入を上回っている。近隣市からは流入が流出を上回っている。子育て世代はメリットを感じているようである。実態を分析して取り組みを進めていく必要がある。</li> <li>・実感として高倉は高所であり、歴史的に見ても町屋の公民館の方が使いやすいのではないか。通学も高倉は豊岡小学校の方が行きやすいのではないかと思う。土地の高低差があり、中学校の通学の様子を見ても大変そうである。</li> <li>→学区についてはさまざまな意見がある。9地区にそのまま学区も当てはめることができるか、利便性など今後の課題である。</li> </ul>	

- ・例えば、金子体育協会の運動会に根岸の人は出ないし、東金子の運動会に出るわけでもない。このような中途半端な部分ができないようにうまく区割りする必要があるのではないか。高倉から坂を下って黒須小学校に通学することは考えにくい。
- 自治会、学区、消防等の区割りを統一的にした方が良いという意見もある。自治会や体育協会の区割りは地域で考えることであって、行政が無理やり区分けするというのも難しい。再編成の中で地域の方の考えを聞き、共に考えていく課題であると認識している。
- ・黒須公民館は築 48 年であるが、建替えまではあと何年か。
- 鉄筋コンクリート造は目安として耐用年数 60 年と見込んでいる。建替えの時期は地域の事情や建物状況により前後する。既に建替えの要望があり、エレベーターがないなど、バリアフリーの問題もある。老朽化の進んだ黒須公民館については優先度が高いと認識しているが具体的に何年度という計画はない。60 年経過を待たずに建替えとの考えもある。
- ・黒須公民館と高倉公民館は稼働率が低いとのことだが、施設の充実度によっても違うのではないか。藤沢公民館とは雲泥の差がある。60 年経過を待たずに建替えて欲しいと思う。鍵山の浅間山団地は一昨年 12 月に退去が始まった。浅間山団地の保有関係はどうなっているのか。老朽化により台風の時などに危険性があるのではないか。早急に取り壊して跡地を活用してはどうか。
- 浅間山団地の土地の一部は市の所有となっているが、一部は高倉の氷川神社の土地となっている。耐震補強ができず、解体の見込みである。入居者対応の問題もあって、計画が進んでいない。市の保有する土地については、その活用について公共施設マネジメントでは位置づけていない。
- ・浅間山団地に関する市の担当部署はどこか。
- 県営住宅に加え、ショッピングセンターがあった経過から商工部局となっている。

第1回住民説明及び意見交換会（東金子地区）の概要	
日 時	平成29年9月7日（木）午後7時～午後9時
場 所	東金子公民館
参加者	8名
<p>○意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東金子小学校と新久小学校を統合すると、児童数が400人超となってしまい一校だと過密になる。</li> <li>→統合については、時期をみる必要がある。すぐやるわけではない。</li> <li>・学校（校舎）の建替えについては、維持管理計画で、使用年数80年と記載があり、現在の建物はそんなにたっていないし、あわてて建替える必要はないと思う。</li> <li>→市内小中学校は事後修繕（壊れたら直す）で対応している。今後、建替えた場合は、予防保全（計画的に修繕する）に切り替え長寿命化を考えていきたい。</li> <li>・ペアーレ入間の風呂はクリーンセンターの予熱を利用している。小学校を統合するのであれば、クリーンセンターに近い新久小学校を存続させ、そこに、やまゆり荘（老人福祉センター）のような高齢者が集う風呂を設置することもできるのではないか。</li> <li>学校内に学童保育を組み込むようになってきているが、この地域の学童保育室は、人数枠があっても、利用する児童が減っていると思う。その原因は、入っても面白くないとか、先生がよくないなど、様々な要因があるかと思う。また、今の子は、老人との触れ合いが少ないと思うので、学校を統廃合し複合施設として、老人も子供も触れ合うような将来を見据えた施設として欲しい。</li> <li>→学童保育室の利用者（児童数）については、地域ごとに状況が異なるのでそれぞれ考える必要がある。</li> <li>→余熱利用については、ご意見としてお聞きします。</li> <li>・新久小は市の防災拠点となっているが、日本では様々な自然災害が想定できるので、防災機能をしっかり整備して欲しい。</li> <li>→地区懇談会でも同じような意見が出ている。</li> <li>・公共施設等総合管理計画の策定は、総務省（国）の通達によるものなのか。</li> <li>→総務省から、全国自治体に策定要請があったのは、平成26年4月22日である。一方、本市では、平成22年から取り組んでおり、公共施設マネジメントの全体像は、平成24年度にある程度固めていた。国からの要請がなくても、現在の取組は計画的に進んでいたと思う。</li> <li>・受益者負担の適正化と書いているが、あらゆるところに民間活力という記載があるが、市のビジョンの記載がなく、何を目的としているのか見えてこない。受益者負担の適正化は危ない。公共施設であるため受益者が負担することはないと思う。（児童・生徒の）保護者の貧困化が進んでいる中で</li> </ul>	

受益者負担を進めていく事が不安である。

→公共施設マネジメントは、市の計画の中でも根幹となる総合計画や行政改革大綱、まち・ひと・しごと創生総合戦略と連携しながら計画をまとめている。民間活力の導入を含め、担い手の最適化も課題となっている。

・懇談会資料等の市民に公表されている資料の中に歳出は書いているが歳入が書いてない。人口減少が見込まれる中で、市の歳入確保の努力が見えない。

→歳入については、概要版に記載がない。資料の構成については、研究を行なう必要がある。

・入りやすい保育所があれば若い人は移住してくる。市の人口を増やす努力が見えないので人口増加の計画を作ってはどうか。

→人口増加に関するご意見は、地区懇談会でも多く寄せられている。市では、公共マネジメントの計画と平行して「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、並行して人口減少対策の具体的な検討を進めている。

・市役所の建替えはこれの先取りなのか。

→市役所は、平成 25 年に実施した耐震診断の結果、耐震性が低いと判断されたため、どのように対応すればよいか、これまで様々な検討を行ってきた。その中で、平成 29 年 1 月に行政側の方針として、現地での建替えを決定したが、予算化等はしていない。市議会議員の方々にも意見を聞かなければならないため、そのための特別委員会を設置して再度庁舎の建替えを検証している。このように、現在は建て替えが決定ではなく、保留の状況である。

・市民体育館、地区体育館等の更新は、フットサルができるなど、その時代にあったスポーツが出来るように整備をお願いしたい。

→他の地区の懇談会でも意見が出ている。今後のニーズを捉えながら施設整備を進めていきたい。

第1回住民説明及び意見交換会（金子地区）の概要	
日 時	平成29年9月8日（金）午後7時～午後9時
場 所	金子公民館
参加者	12名
<p>○質疑等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区懇談会はどういった人が委員なのか教えて欲しい。また、地区懇談会と今回の住民説明及び意見交換会の位置づけについて教えて欲しい。</li> <li>→ 各地区の区長、民生・児童委員、公民館運営審議会委員、PTA 役員、青少年健全育成委員などから推薦を受け、各地区 10~14 名の地区代表に参加していただいている。</li> <li>住民説明及び意見交換会は、地区懇談会のように限られた住民代表だけでなく、広くお住いの皆さんから意見を聞く場として設定したものである。</li> <li>・ 私は市報をたまたま見て参加した。貴重な時間なのに参加者が少なくもったいない。もっと地域の人に周知すべきだと思う。</li> <li>・ 区長会に問題提起をしていただき、その中で色んな人の意見を吸い上げていくのはどうか。</li> <li>・ 金子中学校について。5年前ほどに新校舎を建てたと思うが、将来生徒数が少なくなった時に、全生徒を旧校舎から新校舎に移せば、当面、施設として大きな改修は必要なくなると思う。</li> <li>→ 人口が減れば、新校舎だけでも済むかもしれない。現時点で減る予測になっているが、その時々状況に合わせて対応していかなければならないと考える。</li> <li>・ 保育所については、待機児童がいることも問題だが、0歳児や1歳児といった、最もニーズのある年齢層を預けられないことも大きな問題である。金子地区の保育所においては、第1保育所も第2保育所も定員割れしている。低年齢児の受け入れがないことから、やむを得ず私立に預けているケースも見受けられる。両施設の人数が定員に達していないからといって、一つにまとめるという理屈では、通えない不便な保育所が増えるだけで、ソフト面も充実させないと子育て世代の人を呼び込めないと思う。</li> <li>→ 両施設ともに老朽化が進んでいるので、近い将来、建替えを検討しなければならない。建替え時には、ニーズを捉えて、サービス展開、施設整備を検討していきたい。</li> <li>・ 老人憩いの家については、相続が発生した場合に、その土地を買い取るのかということが課題になる。こうした状況の中で、市として、全ての私有地（土地）を買い取る考えなのか。</li> <li>→ 施設ごとに状況が異なるため、高齢者支援課と協議しながら進める。なお、担当課にも、意見があったことを伝える。</li> <li>・ 地区センターについては、失敗事例があるようだが、どういう理由で失敗したのか教えて欲しい。支所や公民館などの統合はいいと思う。</li> </ul>	

- 入間市の公民館は社会教育に力を入れている。社会教育を育てる機能が疎かになってしまうと、単なる貸館となってしまい社会的な意味が変わってくる恐れがある。こうした点には、留意していきたい。
- ・説明が難しかった。今後の説明会で説明内容がどのように変わっていくのか教えて欲しい。回数が増えるにつれ、段階を踏むという流れであれば、話についていける。また、グラフなどはスライドを使ってみてはどうか。
- 各回初めて参加する方もいるため、現段階では、3回とも同じ内容で説明する予定である。ご意見については、持ち帰って検討する。
- ・学校を統廃合した時に、根岸の子供たちは金子小学校に行きたいのか新久小学校のままで良いのか実際に聞いたのか。子ども達からも十分に意見を聞く必要があるのではないか。
- 地区懇談会の中でもまだ把握できていない。今後再検討する必要がある。
- ・根岸の地区の子供は金子小学校・金子中学校に入れた方が、大人になってから地域のつながりが持てて良いのではないか。
  - ・金子地区の人口を減らさないようにどうしたら良いか考える必要があると思う。地元企業がない、雇用がない、子育て施設がない。環境をつくって、金子を発展・活性化させていくという視点が必要。施設の効率化だけでなく、金子というものを大事にして欲しい。
  - ・地域内の交通整備が必要である。
  - ・公共施設が豊岡地区に集中しており、豊岡地区に人口が集まりやすい傾向がある。金子にも魅力的な施設をつくることで人を呼んで欲しい。財政や老朽化の問題だけでものを見ずに金子を救って欲しい。市内でも、宮寺・二本木、金子は人口増加が厳しいと感じる。
  - ・この計画や方向性が決まるのが、いつになるのか教えて欲しい。計画づくりにおいて、金子地区が最も決めやすいのではないか。市役所が決めるのではなく、金子の住民が決めた方がいいと思う。
- 事業計画（素案）は、30年間の枠組みを方向付けるもので、計画を進める上では、時点修正も考えられる。また、施設ごとに個別計画を作るので、その際にご意見をいただく機会がある。

第1回住民説明及び意見交換会（宮寺・二本木地区）の概要	
日 時	平成29年9月11日（月）午後7時～午後9時
場 所	宮寺公民館
参加者	14名
<p>○意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や保育所、公民館の統廃合など大事な問題なので、多くの市民に知ってもらわなくてはならないのではないかと危惧している。</li> <li>→周知不足は否めない。現段階では広報、公民館だより、地区懇談会参加者による声掛け、FMチャッピーを用いて、市民へお知らせしているが説明会の参加には中々つながっていない。今後も出来るだけ多くの方に参加してもらえるように様々な手法で市民への周知を図っていききたい。</li> <li>・人間市の公式ホームページなどを見ても、公共施設マネジメントの内容がわかりにくい。公民館で公共施設マネジメントの資料を閲覧できると広報で確認したが、公民館に配置がなかった。このままでは市民の周知がないままこの取組が進んでしまうのではないかと危惧している。</li> <li>→公共施設マネジメント白書は、各公民館をはじめ、各施設に配布してある。ただし、事業計画（素案）については策定段階であり、配置はしていない。今後、策定次第、公民館に配置したい。</li> <li>・人間市で公表している人口ビジョンと今回の説明会資料では、将来の推計値に大きな差（開き）がある。人口推移は、不明確な部分が多いのではないかと危惧している。また、不明確なまま統廃合を進めていいのではないかと危惧している。</li> <li>→本日の説明資料では、コーホート法により、過去5年間の人口変化（トレンド）を基に算出している。人口ビジョンによる数値は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、このまま人口減少が進むと、50年後に人口が約9万人になるところを、抑制して12万人に留めるという目標値である。</li> <li>・市では、6地区（豊岡・東金子・金子・宮寺二本木・藤沢・西武）にこだわっているが、人口減少を踏まえると、旧中学校区の5地区でも良いのではないかと危惧している。</li> <li>→地域のなじみがある事を考え、6地区（豊岡・東金子・金子・宮寺二本木・藤沢・西武）が良いのではないかと危惧している。人口や生活区域なども考慮している。</li> <li>・本庁舎の建替えについて計画、概要について聞きたい。</li> <li>→平成29年1月市有特定建築物耐震化推進計画を策定した。対象施設は、市役所、市民会館・中央公民館、市民体育館、市民活動センターで、これらの4施設は、平成25年に耐震診断を行って耐震性能不足と判定された。市民体育館、市民活動センターは事業化を図っている。一方、市役所、市民会館・中央公民館は、様々な整備方法を検討してきたが、現在の市役所の敷地に複合化して建築することを計画している。計画については、行政として29年1月に策定したが、現在、市議会の特別委員会で内容の検証中</li> </ul>	

である。並行して、市民の方にご協力をいただいて、ワークショップを開催している。市役所、市民会館・中央公民館は、現状だと震度 6 以上の地震で倒壊する可能性があり、喫緊の課題と捉えている。

- ・宮寺小学校の PTA の方が統廃合を気にしていた。市民への周知が行き届いていれば参加者は多くなるのではないか。
- ・地区懇談会だけで方向性をまとめるのは困難ではないのか。
- 地区懇談会でも、様々な意見をいただいているが、広く意見を聞く場として、説明会の機会を設定した。
- ・二本木公民館は新しい施設であるが、統廃合によって宮寺公民館が主体となった場合、機能が落ちてしまう。今後の見通しはどうなっていくのか。
- 活用方法について考えなければならない。集会所以外にも防災拠点としても、今後は大枠を決めて、施設の活用方法を考える。
- ・懇談会に参加しているが、個人の意見が反映されて学校の統廃合が行われた場合、個人としては耐えられない。他の地区の話を参考に聞きたい。
- 西武地区で出た意見になるが、統廃合により 2 つの学校がなくなり新しく建てる場合、両校の中間に整備して、学校の名前は、住民の意向に合わせてみてはどうかと意見があった。また、統廃合と同時に学校が遠くなる方への交通手段の確保やインフラ整備を行う必要があるという意見も出ており、参考にしていきたい。

第1回住民説明及び意見交換会（藤沢第一地区）の概要	
日 時	平成29年9月7日（木）午後7時～午後9時
場 所	藤の台公民館
参加者	8名
<p>○意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少について、東京近郊では人口が増えている。郊外だが住みやすい入間市の人口が、30年後に3万人も減少するとは考えられない。もっと緩やかな減少になるのではないか。また、市民会館については、現在の施設が便利なので、修理して今後も残して欲しい。</li> <li>→人口推計については、意見を庁内で共有する。なお、市民会館については、平成29年1月に策定した市有特定建築物耐震化推進計画に基づき、市役所と複合化して建て替える検討をしている。</li> <li>・最近、予期できない大地震が頻発している。市役所（市庁舎）は地震時に耐えられるのか。もし、倒壊するようなことになったらどうするのか。</li> <li>→他市の事例になるが、庁舎が倒壊した場合、罹災証明の発行が周辺の自治体よりも遅れたと聞いている。また、復興にも時間がかかったようだ。市としては、このような事態に陥らないように、今回の意見を重く受け止めた。</li> <li>・災害避難場所については、統廃合で公共施設の数が減るとどうなるのかシミュレーションしているのか。また、それは入間市の人口がどれくらい減ると予測して試算しているのか。</li> <li>→地区ごとに避難者が何人でどこの施設に何人避難するかは試算をしていない。市が保有する公共施設の全体面積は、現時点で約30万㎡である。これを人口15万人で除すと、市民一人当たりの保有量（面積）は2㎡程度となる。計画では、今後全体保有量の3割を削減していくこととしているが、30年後の人口についても、現在より28%減少する推計が出ている。従って、市民一人当たりの保有量（面積）は、概ね維持できるものと考えている。</li> <li>・今後、老人憩いの家を減らすのであれば、高齢者の増加に合わせて、バス路線の増加など交通手段の確保を行って欲しい。</li> <li>→公共施設マネジメントと並行して、公共交通などの検討も行っていく。</li> <li>・学校を統廃合することで、母校を失うことへの心のケアと将来卒業生や在校生が思い出を振り返るための何かを用意して欲しい。</li> <li>→記念樹を残す等、学校があったことを思い出せるような処置も必要と考える。</li> <li>・統廃合により施設が減った場合、各年齢層への対応や、地区のニーズに充分対応できるのかといった視点で、防災担当部署と連携して検証しているのか。</li> <li>→地域の防災や災害復興拠点として、公共施設が担う役割はこれからも変わ</li> </ul>	

らないと考える。市では、地域防災計画を策定しているが、今回の意見を踏まえた上で防災担当部署である危機管理課と共に検証していきたい。

- ・藤の台公民館が統合により無くなると聞いているが、具体的にいつなくなるのか。

- ・本日、提示した案では、藤の台公民館は、地区センター化しないと説明したが、施設を除却するというのではなく、当面は、集会施設に転用するなど、地域のニーズに合わせて活用したいと考えている。なお、時期については、未だ決まっていない。

- ・入間市には、待機児童が発生しているのか。

→担当部署の情報によると、8月には市全体で125人の待機児童がいるとのこと。ただし、この数値は、公立、私立合わせた数値であり地区により定員に達していない施設もあり、状況は異なる。

- ・子供を預けられる場所と、働く場が確保されれば入間市へ移り住んで来る若い世代が増えると思う。市でも、待機児童の解消に取り組み、その取組をアピールする必要がある。

→市では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「元気な子どもが育つまち」をテーマに子育て支援に取り組んでいる。今後、具体的な取組を展開していく予定である。

第1回住民説明及び意見交換会（藤沢第二地区）の概要	
日 時	平成29年9月8日（金）午後7時～午後9時
場 所	東藤沢公民館
参加者	7名
<p>○意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設等総合管理計画は全国的な取り組みか。人口減少の激しい地域、首都圏近郊と首都圏の取り組み状況の違いは。</li> <li>→ 全国的な取り組みである。各市町村で取り組み状況は異なる。床面積の削減率も財政状況や人口減少率の違いによって10～40%と幅がある。計画期間も20年、30年、40年等さまざまである。</li> <li>・ 平成の市町村合併については農村部で合併が進み、都市部では進まなかった経緯がある。400haの加治丘陵の保全、小学校が多く、各地域に老人憩いの家が配置されているなど入間市独自の施策を生かすべきでは。どういう政策を大事にして行おうとしているのか。10～30年後の学校教育をどのように変えていこうとしているのか。施設の10～30年後の展望をどのように持っているのか。市民、子供たちの期待に沿うものになっているのか。</li> <li>→ 結果的には国が示した形のものになっているが、市財政、人口減少を先に考えてマネジメント白書は国の指示前から取り組みが始まっており、後に国の施策と合致する形で取り組みが進められている。教育委員会では小中一貫教育に取り組んでいる。PTAや子供の意見を聞いて充実させていきたい。</li> <li>・ 20年、30年後の財政状況や人口動態といわれても見当がつかない。そのときの経済がどうなっているのか、国民生産が伸びているのか、景気が落ち込んでいるのか、経済の見通しの前提はどうなっているのか。高齢化社会にどう対応していくのか。その展望を持たせるためにどうするのか。単に役所の運営が厳しいからというのは役所の怠慢ではないかと思う。1つの施設を造る場合も将来の見通しや財政的な運営方針を持った上で公民館や学校を造ってきた。今になって責任を持ってないからといってこれまで造ってきた公民館を統廃合するとはあまりにも無責任ではないか。長期的な展望を持ってやってきているのではないか。入間市でも5年、10年の計画でやってきている。それを一気に20年、30年後を展望して計画を作るのは非常に無駄があり、間違いだらけになってしまうのではないか。その点は大丈夫か。</li> <li>→ 生産年齢人口は減少しており、個人市民税の落ち込みが見られる。昭和40～60年代の人口の増加に合わせて学校を造ってきた。財政面や維持管理費など30年後の予想は難しいが、時代に即して施設を見直す必要があるのではないか。ハコモノを造らない方針であるが、やむを得ず造らなければならないこともある。小学校の統合にしても、2校とも劣化している場合など、耐震化はしてあっても長寿命化にはならないので、そのような場合は造らなければならない。いずれにしても皆様の税金を投入することになるので、効率的、効果的に考えて施設の再整備、再配置を行うことは行政としての義務である。</li> </ul>	

- ・5～10年の見通しが限界、10年先でも分からないというのが実態ではないか。20～30年の展望で計画できるものなのか。20～30年後は35～40人学級から20～25人学級にして一人一人の子供に目が行き届くようにすること、教師の負担を軽減することなども検討すべきでは。児童数は平成44年には藤沢南小313人、藤沢東小412人になる。統合すると745人となり現在の藤沢東小655人より90人増加する。市民が望む25人、30人学級といった重要な課題が実現できるのか。10年後20年後の教育をどう変えていくのか。教育の変化や高齢化にどう対応し、どう充実させていくかといった展望がなく、市が管理しやすいからというだけでは納得できない。
- 2つの小学校はほぼ同時期に建設されている。耐用年数とのズレもある。10年後に建替えが必要なもの、まだ、大丈夫なものなどまちまちである。長い目で見ていかないと公共施設の維持管理は不可能である。老朽化の程度に応じて大規模改修や建替えの判断が必要であり、長い目で見て考えているところである。小学校、地区センターの詳細についてはまだ詰めていない。
- ・この地域の説明会PRはいつごろから、どのようにやってきたのか。私は公民館だよりで知った。かなり前から関心があった。平成27年10月に総合計画の説明時にマネジメントに向けた説明があったが、地区懇談会では今までと変わりなく、新しい意見が出ていない。国勢調査により人口減少、生産年齢減少などのデータが出ている。平成27年2月7日にイルミンで行われた説明で6地区を9地区に区分するとされていた。地区懇談会はどのようなメンバーで行われてきたのか。
- 9月1日号広報いるま、各地区の公民館たより、市公式ホームページ、FMチャッピーで周知した。
- ・今日は8日だが、説明会の出席者が少なく寂しい。
- 2、3回目を予定しているので、引き続き広報に努め、多くの方に来ていただけるよう周知を図る。最適化方針を定める際は有識者会議で検討いただいて、各課で原案作成、パブリックコメントを経て策定した。地区懇談会のメンバーは、各地区の区長会の方、PTA、民生児童委員、体育協会の方、老人クラブ連合会の方、青少年健全育成推進会の方、公民館運営委員の方、文化協会の方等、各団体から推薦いただいた。地区によって団体、学校数が異なり、10～14名となっており、差がある。
- ・現実の問題として、鉄道下の道路で小学生の自転車事故が多い。学校から時間表の配布を受け、下校時の見回りを行っている。市長に道路を地上化（オーバースタック）してはどうかと提案したが、費用が掛かる、西武鉄道も許可しない、難しいとの回答であった。市がどのように考えてくれるのか期待しているのだが、道路の改善はできないものか。→担当部署、担当課に伝える。
- ・近くに消防団車庫があるが、地下道の影響もあってか、火災時に消防車が入間市からでなく所沢市から先に現場に到着した。かつては商店街の人など地上化に反対する人もあった。

→担当部署、担当課に伝える。

- ・老人憩いの家は東部長生会、西部長生会があり、人数の変動もある。東部は会員が増加し、県から表彰を受けた。人が増加した老人会は市内でも7~8ある。老人クラブの現状維持を願う。老人憩いの家の畳敷きは座りづらい。下藤沢の方では市で椅子とテーブルを購入してもらったそうで、市に頼んでみたらどうかと言われた。椅子座が使いやすい。市で検討してくれると良いのだが。

→老人憩いの家の利用状況を踏まえ、整備等を検討していく。施設を持ち続けることがかえって老人会の負担にならないか。既に行っているところもあるようだが、維持管理が大変なので、老人憩いの家と自治会館を相互利用できるようにすることなど、いろいろな使い方を検討していく中で、2つ必要なのかどうか。

- ・区（自治会館）と老人憩いの家は別である。同じ（一体の）建物であっても別である。東部長生会は1階は老人憩いの家、2階は区が使っている。他の地区では一緒に使ったらいいといった良い意見がある。お金の問題もある。市から補助が出ているが、老人会もその金額だけではやっていけない時代になってきた。電気、ガス、水道に要する費用など、管理するだけでも何万円も掛かる。区と一緒にやっていければいいのだが、今後うまくやっていく方法を考えていきたいと思う。

→自治会の意向もある。管理費の問題もある。管理が大変であるという話もいただいている。整備をする上で地元の方が使いやすく管理がしやすい方法を引き続き検討していく。また、公民館も和室の問題がある。使いたい部屋が重複しており、和室の利用はお茶会のみで稼働率が下がっているというところもある。すぐに和室をなくすというわけにはいかないかもしれないが、どういうものが良いのか意見をいただき検討していく。

- ・市で椅子や机を購入してもらったとのことだが、どこか。

→下藤沢の藤沢第2長寿会（熊野神社の隣）である。それについては市内部で確認する。なお、担当は高齢者支援課なので相談してみてもどうか。

- ・和室の件は、和室でないと困るという方もいる。これらの情報を踏まえて検討していく。

- ・6地区を9地区に区分することは基本的な方向性か。

→基本的な方向である。区分しすぎるとどうか、かえって検討しづらくなることはないかということもある。藤沢は第1、第2と区分としているが、地区懇談会での検討は合同で行うなど藤沢地区全体を見て進める。

- ・9地区でスタートし、藤沢第1、藤沢第2地区にそれぞれ地区センターができる訳で、人口などいろいろなデータから区分されるのであるが、合同で9月26日に説明するとはどういうことか。メンバーは地区懇談会のメンバーか。方向性が決まっていて、データも準備してきたのになぜ合同でやるのか。腑に落ちない。

- 地区懇談会の中で、学区や自治会区分もあるので 9 つの地区区分だけでは検討不足ではとの意見があった。9 地区は土台として学区がお互いにどのように見えているのか両地区の意見を踏まえたほうがよいのではということで合同開催となった。
- ・わからない訳でもないが、老人憩いの家も約 50 か所あって、9 地区に配分しなければならない。この地区も西武線を境に西と東に区分されているが、将来の計画としては一体とならざるを得ないといったニュアンスではないかと思うがどうか。
- 東藤沢地区の多くの児童が藤沢東小に通学しており、東藤沢地区から藤沢南小に通学している児童もいるという状況もあって将来的には藤沢南小と藤沢東小の統合を検討しなければならないと考えている。また、児童数の推移や学校整備の方向によっては藤沢小と藤沢北小のどちらかに統合を検討することを考えている。藤沢第 1 地区から藤沢第 2 地区に通学している状況もあるので、将来的には児童数の推移を踏まえて 2 校にしていかなければならないのではないかと考えている。
- ・学校と同じように老人憩いの家も統合されるのか。
- 老人憩いの家はそのようには考えていない。利便性を考慮して老人憩いの家を自治会館として若年層も使えるようにすることも考えられる。自治会館の意向や利用状況は各地区まちまちであり、今のところ小中学校と同じように統合するとは考えていない。
- ・それぞれメンテナンスしていくより 1 か所に纏めた方が安価ではないかと思う。
  - ・要望しておきたい事項がある。配布資料の施設配置図が古く、見ている方もよくわからない。主要なもの（道路等）が入っていないので正確にしてもらいたい。地図からは藤沢北小は豊岡地区で使うことになるのか読み取れず不明である。新しい地図でやってもらいたい。また、区画整理による人口動態も含めて説明してもらいたい。
- 資料を確認しておく。

第1回住民説明及び意見交換会（西武地区）の概要	
日 時	平成29年9月11日（月）午後7時～午後9時
場 所	西武公民館
参加者	26名
<p>○意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会を傍聴しているが、行政サービスや交通手段が低下するのではないかという意見が多いと認識している。住民も同じ考えが多数である。議会でも住民説明会が十分に伝わっているのかと言われているが、説明会は、今回を入れて3回あるが、そのことの対応と理解している。</li> <li>・ 30年間という長いスパンで、10年ごとに見直しをしていくとのことだが、整備複合化することによって、空地を残す計画はあるか。全て売却と考えるてよいのか。</li> </ul> <p>→現在の計画では、空地はない。可能であれば売却したいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30年先の人口構成や生活環境の変化は、誰も分からないと思う。何かあったときには、また購入しなくてはならない、全て売却するのではなく、空地の確保も選択肢の一つとして入れていただきたい。</li> </ul> <p>→空地は、地域のためグラウンドや防災のための場所として利用するのも選択肢の一つとして考える。地域でどのように活用を図っていくのが良いのか併せて検討していきたい。具体的に計画を示していないので、土地の有効活用の選択肢として、持ちかえらせていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資金調達について、30年後にどうなるか読みにくい。維持管理費が年間47億円掛かるということだが、10年のスパンで考えるとオリンピックも入ってくるので47億円以上掛かると思う。議会ですっかり監視していただきたい。</li> </ul> <p>→状況によっては、変動の要素と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中学校の統廃合について、西武中がなくなるだとか、いろいろ噂が日々でている。教育委員会が、小中一貫を進めている中で、小学校1校、中学校1校にするのではなく、小中学校1校にして2校にするという考えは、無いのか。仏子小に通っていた子が西武小に来るよりも西武中と一緒にすれば解消できるのでは。</li> </ul> <p>→教育委員会の考え方は、小中一緒の学校というよりも小中の連携した教育を進めていく考えである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会の考えで、小中一貫があるとしたら場所が一緒でも別でも基本的に変わらないと思う。</li> </ul> <p>→学校のあり方については、教育委員会に報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日高市は、登校するのに1時間半かかる場所もあると聞く。入間市は、無いと思うが、子供たちのことを考えて近くに通える学校を残していきたい。無理やり統合するのではなく、小中統合すれば、歴史的意味も残っていくと思う。</li> </ul>	

- 提案を持ち帰り教育委員会に伝える。
- ・西武地区の再整備、再配置について、30年間で、市全体で金銭的な目標設定、そのうち西武地区にいくらとして目標としているのかが、示されていない。無駄を省こうということだと思うので、金額で示せばもっと分かりやすい。
- 市全体の方向性として今後の費用の算出や投資できる見込みは算出しているが、地区ごとには算出していない。持ち帰り精査してより分かりやすく資料に反映したい。
- ・学校をひとつにするのであれば、確かに遠隔になる子もいる。例えばスクールバスを2台にして、野田と仏子地区に廻したらと感じた。
- 懇談会でも他地区でも意見が出ている。ただ統廃合して効率化する場合、西武地区にあっては、南北の間に川や鉄道が通っている。縦の往来に制限があるので十分検討すべきだと意見がある。施設面だけではなく、スクールバスを含め通学路の問題も検討の課題だと認識している。
- ・公共施設マネジメント事業計画の概要5ページ(3)計画のスケジュールの中で、1期2期3期とあるのは、1期毎の期間は、10年と考えてよいか。2期目以降どうなるかは、説明のあった提案のようにあり得るということか。
- 期間は10年として考えている。30年の計画で、長い視点において大枠を固め、10年毎にどうしていくかを決め、よりよく詰めていく必要があると考えている。人口の推計であったり、町の様子も30年先は、大きな宅地、マンションや工場が建つか不確定なので、30年という長い期間で考えつつ10年ごとに見直すように考えている。公共施設の整備は、じゃあ来年やりましょうとはいかない、長期的な視点で示して10年毎に見直しをしていきたい。
- ・市の保有施設は32万㎡と書いてある。3割減らすと26万㎡。加計学園とかでも建替で30万円/㎡から40万円/㎡と言われている。全部建替えても700から800億円になる。なんで1800億円になるのか。計算の根拠は事務屋さんだけで出したのか。
- 計算は、総務省が示しているソフトウェアを使用している。
- ・建替えた場合は、いくらと書いてあるか。建替えた方が安いということか。改修して維持管理したら1800億円もかかって、建替えたら700から800億で済むのか。それに維持管理費が掛かるということか。県や市の技術屋さんがチェックしたのか。
- この白書を作る際に、こういう問題について研究している会社と共同で作成している。
- ・それを県や市の技術屋さんが点検しているのか。
- 計算しているソフトウェアについては、国が参考のデータを示している。
- ・単純に疑問だから聞いた。全部プロがやったからいいよと言っているが、

設計事務所などに聞いてそういう話にはならないのか。データに疑問は持たないのか。

- ・ 40年間で改修工事等を含めて1800億円。40年で割ると47億円だと理解している。
- ・ 総額の質問をしている。そう理解しているなら、もういい。
- ・ 維持管理マニュアルを作るといっているが、西武地区の公民館の改築計画はないのか。

→今のところ具体的にいつどうこうとは示していない。

- ・ 計画ができた際、いつ頃から公民館の改修工事が始まるのか。地区懇談会で傍聴したときに、西武公民館は老人が利用しにくいという質問があったが、20年位前に法令（ハートビル法：高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律）で身体障害者に対応した施設に改修しなさいとなっているのではないか。本来ならエレベーターや身体障害者トイレも設置しなくてはならない。公共施設が2階建ての場合、どういう設備が必要かを行政として考えなくてはならない。
- ・ 公民館の利用率が少ない理由として、高齢者にとって移動が困難なため2階の利用が少ないからではないか。
- ・ 小中学校の統廃合の問題で、敷地のデータは無いのか。

→敷地面積のデータは、示している。

- ・ 小中学校の統廃合は、敷地の面積によって学校ができる。統廃合した場合は、国から補助金が1平方メートル当たり数十万円ででるから改築した場合のほうが安いのでは。勉強しているのか。既存校舎が新しいとか古いとかは関係ないはずだ、あくまでも敷地面積だ、改築費用は国からでるはずだ、西武小の増築も国からでているはずだ。

→全部補助金が出ているわけではないと思う。

- ・ 学校の統廃合の問題で、教育方針を聞かれて、質問しても答えられないのは、ここに教育委員会の人、いないのがおかしい。入間市の教育はこういうふうにするのだと、西武地区の小中学校は、このままとして、だけど生徒数が足りないからこうしますと。質問に答えなくて、何のためにそこにいるのか。施設なんかは、教育方針の中では関係ない。
- ・ 子供がいなかったら学校はいらない。人口が減っているので提案もひとつの選択肢だ。
- ・ 教育委員会の方針を言ってもらわないと困る。次回、連れてきてほしい。

→そういう質問に答えられる体制になっていなかったのは申し訳ないと思っている。

- ・ 小中一貫教育になった場合で、施設や教育の内容がどうなるか分かるのか。

→今すぐ、教育委員会で方針として答えられるかは、分からない。

- ・ 方針として出ているから統廃合の問題がでていないのではないか。

→10年後20年後は、具体的に分からない。適正な学校の規模の望ましい範囲

としては、教育委員会として検討している。

- ・検討している内容を示してほしい。入間市の教育方針を示してくれたらみんな賛成だと思う。そうすれば、校舎をどこにつくるかという話になる。
- 教育のことで説明しうるような準備をするため持ち帰らせて欲しい。
- ・東金子中学校の生徒が、少なくなったら、また一緒になるのか。何の話もない。1回目の懇談会で資料に載っていた。なぜ削除したのか。
- 東金子中学校は、以前は、武蔵中と西武中に通っていた生徒がいた。長い目で考えた場合に適正な中学校の数を考えた。この30年位の内に、中学校の数は地区を跨いでも長い目で検討しなくてはいけない。30年の中では、東金子地区と西武地区の学校の統廃合は、まず無いだろうと考えて表現を直した。
- ・保育所は、入所数が、80何人と書いてあるが、延長保育とかして増えるのでは。検討しているのか。説明がない。
- 運営の形態や低年齢児の受入も含め、民間保育所の配置状況も踏まえて適切な配置を検討していきたいと、先程説明した。
- ・西武公民館をエレベーターやトイレの改修を含めて改修するのか、しないかを知りたい。改修して利用率が低いなら、まだ分かる。利用率を上げるためには、どういう維持管理をすれば良いのか。仏子の図書館を廃止するとか言っているが。
- ・大枠が決まったら、次のステップとして中身について、エレベーターやバリアフリー、部屋数の増設要求などを委員に聞かせてくれると理解している。
- ・公民館によってエレベーターの有り無しがある。和室があまり使用していない。
- ・この施設は、法律に則った施設ではないので、勉強をして、次回のときにエレベーターやトイレのことなど、みんなに説明して欲しい。
- ご意見を頂戴した。
- ・小学校を複合化して図書館分館も含めていろいろな機能をもたせるとのことだが、施設を新しくしないと無理だと思う、費用や人の配置もしなくては、ならないと思うが、本当にコストが削減になるのか、疑問。複合化により学校に一般人が出入りするの、いいことだと思う。コストパフォーマンスを含めどのように実現するのか。
- 複合化は費用が掛かるので一度にはできないと考えている。一部の学校で学童保育室と複合化をしている。将来的に建て替える時に一つの施設に集約した方がコスト削減できると考えているが、具体的な額は算出してない。人員配置の問題は、どういう市民サービスを提供するかを検討し必要人員、人件費や維持管理費の試算をしていきたい。今の段階では、複合化することによって、セキュリティーの問題などで地域の方が使いづらくなるとか、複合化に対して違う考えがあるとか意見を聞いて共通認識を図

- りたい。詳しい人員配置は、まだ、検討していない。
- ・複合化で学童保育室も一緒になるといったが、所沢などはNPOなどの指定管理をしているが、入間市は、指定管理は考えないということか。
- 学童保育室の運営の方向性は、具体的に言えない。決まったわけではないが、民営化もひとつの選択肢だと考えている。
- ・市役所の複合化の委員もやっているが、こういう説明会で話したことが、どう反映していくかが見えない。教育委員会のことは分からないのでは、建物だけを考えていて、住んでいる人がどう生活するかを考えないと、地域はつukれない。市役所複合化の問題に対しても自分達の意見がどう反映されていくのか疑問に思っている。説明会を2、3回やっていくうちには整理できると思うがどうか。
- 建物だけでは地域はつukれない。地域の歴史的な背景やコミュニティの繋がりを考えて施設のことを考えたい。先程の基本方針の中では、新たなハコモノは作らないと言ったが、長く使用した施設は、建替える。市役所と市民会館の複合化は、両方の耐震性が不足している。複合化することで、全体的な施設の数を減らし建設費や維持管理費を減らすことや、新たな文化活動の場とすることが、今後の入間市の方向性として良いのではないかと考えている。学校の耐震化は緊急性があるため、平成27年度までに完了した。
- ・合併時期に市長が庁舎は、安全だから使用すると言っていたがどうか。
- 平成24年度及び25年度に耐震診断を行った。
- ・あの時の発言は、どうなっているのか。市長が変わったらいいのか。
- その点については、答えられない。
- ・庁舎を建替えたいからマネジメント計画をつくったと思われる。
- 全般的な取り組みの中で公共施設をどうやって維持していくか建替えも含めて検討している。
- ・計画があるのに誤魔化しているのではないか。
- 誤魔化しているわけではない。今日は、西武地区の中の公共施設の再編について話している。疑問があれば、聞いていただきたい。
- ・図書館西武分館の質問をしたかった。次回、意見を聞いて欲しい。図書館を無くすのはもったいない。映写室を会議の場として使用している。
- 今すぐ、無くすわけではない。2回目もあるので再度聞いて欲しい。
- ・区長から伝え聞いたことでは、図書館が無くなり学校に統合するという話がある。今日聞いても大きな誤解があると思った。まだ、新しいし、利便性もありこの地域は会議をする場所が不足している。具体的にこの施設は、残るとか、学校に移らないとかはつきりして欲しい。
- 資料を整理させてもらいたい。